



細胞から病気を診る ー病理学でわかることー



サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の市民が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について語り合う新しいコミュニケーションの場です。

病理学は、臨床医を通して患者さんから摘出された細胞や臓器などを対象とし、病気によってどういった変化がもたらされているのかを診断・研究する学問です。

診断のためには標本を作成し、組織化学、免疫組織化学、電子顕微鏡などの様々な技術を駆使しながら、病気を特定していきます。最近では分子レベルでの解析も盛んで、分子病理学という新しい分野もうまれています。

病気の本体を見極め、治療に結びつけるためにはとても重要な「病理学」。実際には、種々の技術をどのように駆使して診断していくのでしょうか？ また、どういった課題があるのでしょうか？

今回は病理学について、研究、実用両方の側面から皆さんと語り合いたいと思います。みなさま、ぜひご参加ください。

ゲスト： 前田 光代さん (理化学研究所 神戸研究所 客員研究員)

日時： 2008年7月30日 (水) 18時から20時

**場所： 和風レストランさくら
(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
神戸大学社会科学系アカデミア館3F, Tel:078-882-5141)**

**アクセス： 阪神御影, JR 六甲道, 阪急六甲駅から
神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行き
「神大正門前」下車**

参加費： 700円 (但し、ケーキセット代として)

定員： 30名程度
※ 先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。

参加申し込み・お問い合わせ：

神戸大学サイエンスショップ
メール： scicafe@radix.h.kobe-u.ac.jp
TEL・FAX： 078 (803) 7979



※不在の際は、留守番電話が応答します。お名前と連絡先を残して下さい。

主催：サイエンスカフェ神戸 <http://scicafe.h.kobe-u.ac.jp/>

